

溜池保全サポートセンターを設置をし安全対策を!

民報

おうしゅう

読者版

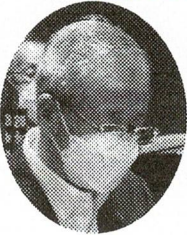
発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

8月26日から奥州市議会9月定例会が開かれています。日本共産党市議団は、公約実現、住民要求実現をめざし全員が一般質問に登壇し、倉成淳市長の市政運営の考え方について質しました。一般質問の概要について紹介をいたします。

菅原明議員は、全国で溜池での死亡事故で毎年25名ほどが亡くなっている問題を取り上げ、7月23日に起きた金ヶ崎町での草刈作業中の溜池での死亡事故を紹介しながら、奥州市の対策の状況について質し、溜池の安全対策や保全管理を支援するための「溜池保全サポートセンター」の設置を求めました。

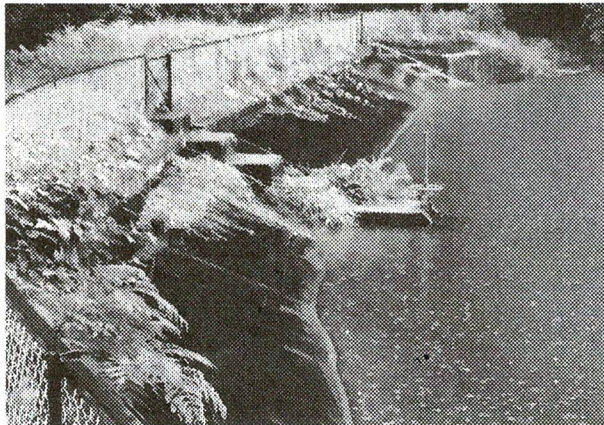
市内溜池490カ所

倉成淳市長は、金ヶ崎での事故は溜池のコンクリート法面で、滑って溺れたものだと、胆沢平野土地改良区に対して、口頭で安全対策を求めたことを明らかにしました。



菅原 明 議員

また、コンクリート法面の溜池は市内に20カ所、溜池は490カ所確認していると、まだ確認できていない溜池の確認を進めたいと答弁しました。



胆沢若柳字愛宕地内農業用溜池

県に強く設置を要望する

倉成淳市長は、「溜池保全サポートセンター」の設置について、県単位で設置されており、東北では岩手県のみ設置されていないことを明らかにしました。

岩手県は対策チームを立ち上げ検討しているが、具体的スケジュールを示すことができていない。岩手県にたいして、設置を強く要望し、溜池管理、活動支援に努めたいと回答しました。

高齢者世帯へのエアコン設置の助成制度の創設を

菅原明議員は、夏の暑さが厳しくなっていることから、熱中症予防を目的として、市内に住居を有するエアコンがない高齢者世帯に対し、エアコンの設置の一部を助成する制度の創設を求めました。

まずは、予防啓発に努める!

倉成淳市長は、高齢者は暑さを感じる機能や体温調整ができないことから、介護予防に取り組んでいる「よさってクラブ」や高齢者の見守りを行っている配色サービスなどを通じてなど、様々な媒体を通じて熱中症予防の啓発を行っていくと答弁しました。

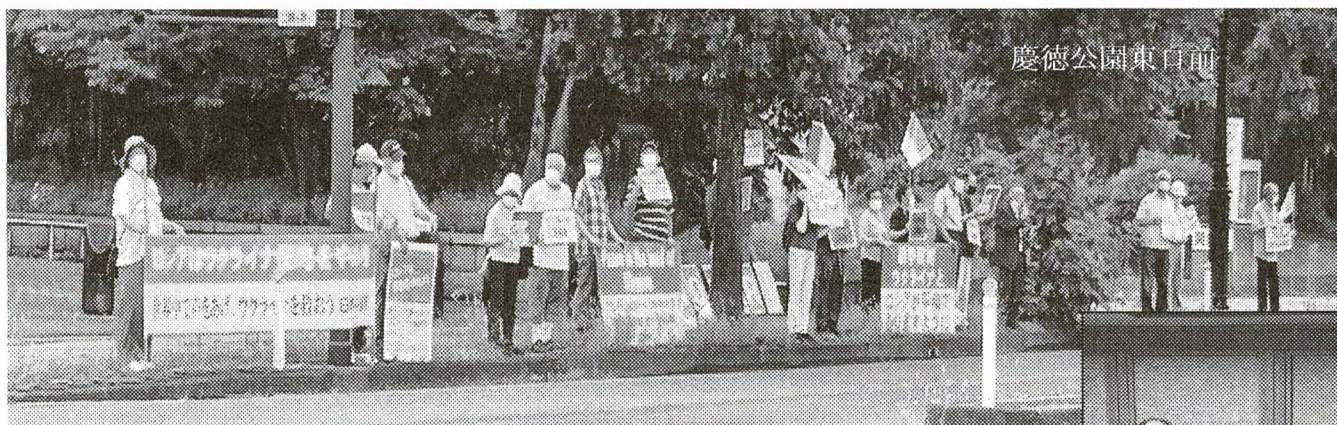
啓蒙活動だけでは不十分では

菅原明議員は、「高齢者へ周知する」との答弁にたいし、「よさってくらぶ」や配食サービスを利用していない高齢者も多いとして、まずは、制度としてエアコン設置の助成制度を創設し20件とか30件の助成をするところから始めるべきでないかと改めて質しました。

ソフト面で知恵をしぼる

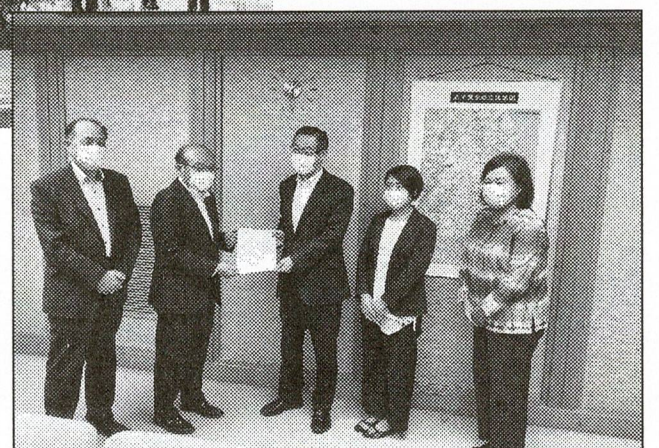
担当者は、福島県喜多方市、相馬市で制度を導入していることを明らかにし、30件から50件の申し込みがされていることを明らかにしました。

27日、ウクライナに平和を! スタンディング



慶徳公園東口前

倉成淳市長は、制度設計には慎重が必要だとして、ソフト面からのサポートできることがあると思うので、ソフト面での知恵をしぼりたいと答えるにとどまりました。



申し入れする県議団(右端 千田美津子県

31日、日本共産党岩手県員会、同県議会議員団は、達増拓也岩手県知事にたいし、「安倍元首相の「国葬」の中止を求める申し入れ」を行いました。菊池哲副知事が対応しました。(写真右)

27日、午後1時から、水沢慶徳公園東口で「ウクライナに平和を! スタンディング」(主催:国民大運動実行委員会、岩崎郁郎代表)が行われました。

30人近くの方の参加し、「ロシアは国連憲章違反のウクライナ侵略をやめよ!」と訴えました。多くの車から声援を受けました。(写真上)